

広報

SUGINAMI

すぎなみ

平成20年 1/1 NO.1833



新春対談

山田区長・河野区議会議長・乙武洋匡さん
ジェイコム東京2チャンネル
1月1日(祝)～3日(木)・7日(月)9時、14時、
23時 / 4日(金)9時、14時、21時、23時 / 5
日(土)・6日(日)9時、16時、23時

●発行/杉並区 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
●編集/広報課 区の代表電話は ☎ 3312-2111
FAX 3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

〈発行日〉毎月1日・11日・21日

スポーツで元気すぎなみ!



今年は、4年に1度の
スポーツの祭典である
オリンピックが、北京
で開催されます。
私たちのすぎなみで
も、元気にスポーツを
楽しむ方が、大勢活躍
しています。

陸上競技選手の成瀬美紀さん(日本女子体育大学助手)と、元気いっぱい東田小学校の子どもたち(19年12月1日(土)に同校で行われた「東田体力DAY」にて)。成瀬選手は、19年全日本実業団対抗陸上競技選手権の200mで、見事1位を獲得しました。

「いのち」を育む年に

杉並区長

山田 宏



あけましておめでとございませう

昨年もなかなか舵取りの難しい年でしたが、区政運営も概ね順調に進めることができました。皆さまのご理解とご協力に対し、心より御礼申し上げます。また、今年もどうかよろしくお願いいたします。

さて、「新しい苗を植える年」と言われた「丁亥(ひのと)」の昨年は、4月の区長選挙でお約束した「杉並改革の総仕上げ」に向けた諸公約の実現に着手した年でしたが、今年は、「あらゆるものが力強く成長し、今後の時代の『かたち』を創る」と言われる「戊子(つちのえね)」の年にふさわしい一年にしたいと思っております。

昨年一年間を振り返ると、子どもを巻き込んだいたましい事件、食品の偽装表示や輸入おもちゃ等への有害物質の使用問題、さらに長く続いた猛暑などの気候変動といった、私たちの「いのち」の根源にかかわる問題が多く発生した年でもありました。そこで私は、今年「『いのち』を育む」という視点も重視した区政運営に努めていきたいと思います。

「いのち」を育む杉並区

昨年は、子育て分野においては、中学生までの医療費の無料化や、就学前の全ての子育て家庭に対する「子育て応援券」の配付、そして妊婦健診の無料化など、また、教育分野においては、全国で初めて区採用の教員を小学校に増員配置するなど「新しい苗」を植えてまいりました。今年「いのち」を育む杉並区に向け、昨年植えた苗を生かしつつ、病後児保育に加え病児保育を1月から開始し、また、

4月からは小学校の三〇人程度学級をスタートし、その上で杉並区の教育の柱となる教育基本条例の制定を目指したいと思います。

また、深刻化する地球温暖化に足元から対応するためにも、「杉並の良識を全国の常識に」の言葉どおり、杉並の取り組みが全国的な取り組みへと定着しつつあるレジ袋有料化については、新条例の制定、加えて、家庭ごみの有料化と戸別収集の検討、さらに自然環境適応型の初めての「エコスクール」としての高井戸小や方南小、そして荻窪小の竣工に向け作業を進めてまいります。

これらの「いのち」を育む杉並区の取り組みが、これからの日本のモデルとなるでしょう。

絶えざる行財政改革からサービスの向上へ

今年の9月からは、毎週土日も区役所の本庁舎を開き、皆さまの各種届出や証明書類の発行だけでなく、様々なご相談にも対応していけるよう準備を進めていきます。区議会においても、一連の区議会改革の一環として、2月の区議会から「土曜議会」がスタートすると聞いています。

こういった様々な区民サービスの向上は、一方で行財政改革がしっかり行われて初めて実現できるもので、私は今後とも厳しい目で「杉並改革」を進め、任期の終わった平成23年度には区債残高をゼロにしてバトンタッチをしたいと考えています。本年も皆さまにとりまして、実り多いよい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

暮らしのちょっとしたお問い合わせは ☎ #8800 または ☎ 3372-8800 一区役所いつでも電話サービス

歩きながら、元気と文化が生まれる街。すぎなみ

健康のためにいつまでも楽しく
三人合わせて279歳!

中央クラブ所属 (ゲートボール)



野辺 善太郎さん
(松ノ木在住)



高木 朝俊さん
(高井戸西在住)



根本 福衛さん
(高円寺南在住)

区内のゲートボールチーム「中央クラブ」には、90代でゲートボールを楽しむ3人組がいます。元気の手本としてプレーし、技術も確かです。昨秋の区民体育祭にもそろって出場しました。3人とも、ゲートボールを始めて20年以上になる大ベテランです。

野辺善太郎さん(94歳)は、特段スポーツ歴はありませんでしたが、72歳の時にけがをしたのをきっかけに、「何か体を動かそう」とゲートボールを始めました。

「日曜日以外は、ほとんど毎日のように練習をしています。ゲートボールは頭の活性化になるし、ほかにもデジタルカメラで写真を撮ったり、パソコンもやっています」と笑います。

高木朝俊さん(93歳)は、スポーツ万能で陸上競技、野球、ゴルフなどをやっていました。車の

運転も大好きで、ずいぶん旅行をしたとのこと。ゲートボールを始めてからは、プレーのほか連盟の役員などまとめ役を永くこなしました。現在は、中央クラブ主将を務め、「今年も健康を大切に楽しく過ごしたい」と話します。

ゲートボール以外の趣味が12もあるという根本福衛さん(92歳)も、運動が得意で、野球や陸上など万能選手でした。

「ある日、中央線に乗って窓の外を見ていたら、ゲートボールをやっているのが見えたんです。それで、どうしても自分もやりたくなって…」。

「天気の良い日に外へ出て、適度に動き、人と話す。頭を使うし、ゲートボールって奥行きが深いスポーツなんですよ。これからもできるだけ続けたいです」と根本さん。

「遊びを中心に、練習や試合をほどほどに楽しみたいね」と、隣で野辺さんが穏やかにほほえみました。



▲厳しい視線でゲートボールをねらいます。野辺さんは左打ち



すぎなみには、元気にスポーツを楽しむ、活躍している方が大勢いらっしやいます。その中から代表して、六名の方と一団にお話をうかがいました。

スポーツを楽しむ、輝く すぎなみの皆さん

「剣道が一番楽しい」

なが た きよし
長田 規由くん
(高井戸第四小学校)



▲胴のいちょうのマークは、都代表選手のあかしです

長田規由くんは、区内の剣道団体・西荻尚武会に所属する体育が得意な小学6年生です。

4歳から剣道を始めて着実に力を付け、昨年3月に、都剣道大会の優秀選手賞を受賞しました。

受賞から4カ月後の7月、都内の優秀選手30名のうちから、全国大会へ出場する選手5名を選ぶ選考会が行われました。長田くんは、週4日の通常練習のほかに、毎朝登校前に高井戸警察署へ朝げいこに通い、選考会に臨みました。

選考会最後の試合では、延長戦に持ち込んだ末に相打ち(両者が同時に相手を打つこと)をメンで制し、見事に都代表選手の1名として全国大会への切符を勝ち取ったのでした。

「延長戦では、ビデオを持つ手がぶるぶる震えて止まりませんでした」とお父さんは振り返りますが、当の長田くんは、「無我夢中で何も覚えていません」。

9月16日に大阪で行われた全国大会で、東京都



▲高井戸第四小学校での練習

チームは惜しくも予選で涙を飲みましたが、「この経験で、自分に大きな自信ができました。今年も、また全国大会に出場したいです」と長田くんは目を輝かせます。

「試合で勝つとうれしいし、友だちと一緒に練習するのも好き。時間があったら剣道をしていたいんです。目標は、去年の全日本剣道選手権で優勝した寺本将司選手です」と笑顔で話す長田くん。剣道を心から愛する少年です。

「ボッチャでパラリンピックを目指します」

たきぐち ともか
滝口 知花さん
(阿佐谷南在住)



▲スポーツ歴は20年以上になります

滝口知花さん(38歳)は、18年の全国障害者スポーツ大会で、陸上競技2種目で2位の成績を収め、区のスポーツ栄誉章を受章しています。

「一番得意なスポーツは陸上」と話す滝口さん。陸上のほかに電動車いすサッカーなどもやっています。でも、滝口さんが現在一番力を入れて練習しているスポーツは、「ボッチャ」です。ボッチャは、重度の障害がある人にも楽しめる、ターゲット型のボールゲームです。

「パラリンピックは、身体障害者を対象とした世界最高峰のスポーツ競技会。ボッチャはそのパラリンピックの公式種目なんです。だから私は、ボッチャを一生懸命練習してパラリンピックに出たいんです」と、滝口さんは夢を語ります。

ふだんは、なでしこ生活園に通っていますが、週2、3回は、電車を乗り継ぎ、北区の東京都障害者総合スポーツセンターで、お昼過ぎから夜の7時くらいまでボッチャの練習に励みます。



▲都障害者総合スポーツセンターで、ボッチャの練習(左が滝口さん)

昨年は、関東大会からミニ大会まで様々な試合で、都内各所をはじめ横浜、三島、浜松と遠征した滝口さん。

「優勝したり、自己新記録が出せたときが、とてもうれしいです。スポーツ以外では編み物が趣味ですが、最近はスポーツの練習や試合漬けで、編み物の時間はほとんどありませんね」。

取るぞ! 日本一!! ~仲間を生かしてあげられる自分になろう 自分を生かせるチームをつくらう~

東京杉ークラブ (バレーボール)

「こんにちは!」
体育館に足を踏み入れた瞬間、子どもたちの元気なあいさつが飛んできます。

東京杉ークラブは、区内で活動している男女小学生のバレーボールチームです。

昭和51年に、杉並第一小学校の課内クラブとして発足しました。保護者、地域の方に支えられて創部30年が過ぎ、現在では、都大会に男女アベック41大会連続出場、女子は関東大会3位、男子は全国大会準優勝の実績を誇る強豪チームに成長しました。

東京杉ークラブは、バレーの技術はもちろんですが、「強い子(身体)」「我慢強い子(精神力)」「礼儀正しくやさしい子(心)」を育てることを目指しています。

女子キャプテンの小林桃子さん(堀之内小6年)は、「全員が、どんな時もきちんと

あいさつができます」と胸を張ります。

「練習では、各自が周りに目を配りながら、責任をもってやるべきことをやる、ということに大事にしています」と話す小林さんは、キャプテンとして、自分の練習のほかに率先して下級生の面倒をみることを心がけています。

就任して20年になる宇賀田真一監督は、「仲間を助ける快感、助けられる快感を、ぜひ子どもたちに知ってほしい」と、温かく、時には厳しく指導します。

仲間のきずなが固く結ばれた東京杉ークラブの男女は、都代表チームとして、3月に新潟で行われるスポーツ少年団全国大会に向け、日々、活気あふれる練習に励んでいます。

取るぞ! 日本一!!



▲19年10月のスポーツ少年団東京大会でアベック優勝

「二人でうまく
踊れた時が最高」

さいとう ゆうま
齊藤 優摩くん
(桃井第二小学校)



▲学校では体育が得意です

18年度に杉並区スポーツ栄誉章を受章した齊藤優摩くんは、現在、桃井第二小学校4年生です。

18年の小中高校生ボールルームダンス全日本チャンピオンシップで、ラテンアメリカン低学年男女の部の1位に輝きました。小学校に入学する少し前に、お母さんの友人が通うダンススタジオに見学に行ったのが、ダンスを始めるきっかけでした。

「私も昔ダンスをやっていたし、気軽な気持ちで見に行ったんです。そうしたら、とても気に入ってしまって。お昼過ぎに行ったのに、結局、夜の9時までスタジオから帰ろうとしませんでした」と、お母さん。

齊藤くんは、ダンスの楽しいところを、「友だちと一緒に練習できること。それから、2人で力を合わせて踊るところ。一緒にうまく踊れた時はうれしいです」と話します。

試合が近づくと毎日踊り続けて筋肉痛になり、ちょっとつらくなることもあります。またの全国大会での優勝を目指して、日々、レッスンに励んでいます。

練習中も常に笑顔を決りやさない、明るい齊藤くん。休憩中やレッスンが終わったあとは、すぐに周りに友だちの輪ができて、楽しそうな笑い声がはじけていました。



▲19年の小中高校生ボールルームダンス全日本チャンピオンシップ(左が齊藤くん)

スポーツで元気な生活 元気な地域をつくろう



あなたのまちで、地域スポーツ推進隊活動中!

「地域スポーツ推進隊」とは、杉並区体育指導委員の愛称です。スポーツによる地域づくりを目指し、スポーツに関する身近な相談窓口として活動しています。今年は、スポーツを通じて地域で知り合いの輪を広げてみませんか。——問い合わせは、社会教育スポーツ課社会体育係へ。

▶キンボール教室



◀スポーツ百人一首

地域スポーツ推進隊 (区体育指導委員)とは

区民の自主的なスポーツ活動の推進とスポーツによる地域づくりを目指して、様々な課題についてみんなで考え、実践している区教育委員会の非常勤職員です。現在、公募による二六名が活動しています。

活動の柱は三つです

◆気軽に立ち寄れるスポーツ拠点づくり

事前に申し込みをしなくても自由に参加できるスポーツの催しを、毎月実施しています。

ふだんはあまりスポーツをしていない方や「運動したいけれどどきついのはちょっと」という方も大歓迎です。子どもも大人も、スポーツが得意な方も得意ではない方も、みんなが楽しめるように工夫したプログラムを行っています。気軽に足を運んでみませんか。

◆だれもが楽しめるスポーツ行事の企画から実行まで

初心者を対象とした「歩こう会」、直径122cmの大きなボールで対戦する「キンボール交流大会」、簡単でも奥が深い「綱引き」、老若男女でチームを作って参加できるユニークな宣言タイム制の「ファミリー駅伝」など、様々なスポーツの催しを企画・実施しています。

◆スポーツに関する相談窓口

「近所のスポーツサークルを紹介してほしい」、「運動できる場所を教えてください」など、区民の皆さんの身近な相談に応じたり、情報提供をしています。

近所でスポーツを楽しみたいとき、あなたのまちの地域スポーツ推進隊に気軽に声をかけてください。地域スポーツ推進隊の紹介は、社会教育スポーツ課までご連絡ください。

一緒にスポーツしませんか

地域スポーツ推進隊の方にうかがいました

◆スポーツに関すること、ご相談ください!

飯島典子さん (堀ノ内在住)



◆スポーツを通じて、仲間をつくりませんか

ト部 禎生さん (善福寺在住)



「何のスポーツを指導しているのですか?」とよく聞かれますが、私たち地域スポーツ推進隊は、「スポーツを通じて地域づくり、仲間づくり」を目指して日々活動しています。

スポーツで知り合った方同士が、まちで出会ったとき「こんにちは!」と言ひ合える関係。今年は、私たちと一緒に近所にそんな仲間をつくり、楽しくいい汗をかきませんか。

今年度は、和田小学校、高井戸第二小学校でキンボール教室を毎月一回行い、地域の皆さんと一緒に楽しんでいます。学校や児童館、地域グループでのスポーツレクリエーション活動の支援・参加も行っていきます。

現在、西荻地区区民センターと上井草スポーツセンターで「スポーツ百人一首」を毎月一回開催しています。取り札はノートの大さき、字も巨大。準備運動は、スタップで考えた「百人一首体操」です。

「地域でスポーツをしたいが、どうしてもかわからない」といふときには、私たちに相談ください。

「とりあえず見学」という方、「札を読みたい」という方も、ぜひどうぞ。一度、気軽に参加してみませんか。

高井戸温水プール

床をタイルに張り替えました

高井戸温水プール(高井戸東3-7-5)では、このたび、25mプールの床をタイルに張り替えました。皆様のご利用をお待ちしています。

●利用時間=午前9時~午後9時。第3月曜日休場。年始は1月4日(金)から通常営業。ただし、2日(水)・3日(木)は年始の特別営業をします(午前10時~午後4時)▷施設内容=一般用25m×13m、子ども用12m×7m、幼児用5m×5m●個人利用=1時間大人250円、4歳~中学生130円●社会教育スポーツ課



▲25mプールの床がきれいになりました

時1月6日(日)午後2時~**費**一〇〇円(観覧料。中学生以下無料)●当日、直接会場へ
◆子ども博物館教室
「古民家でまゆ玉を作ろう」
かまどで団子を蒸して、木の枝に刺し、まゆ玉飾りを作ります。
あわせて古民家に、20日(日)



▲獅子舞

時1月12日(土)午前10時~正午**対**小学四~六年生**定**二〇名**費**無料●1月5日から電話
で、郷土博物館へ(先着順)
●小さな枝で作った飾りを持ち帰れますので、持ち帰り用の袋を持参してください
——(いすれも)——
場・郷土博物館(大宮1-20-8)●電話3317-084



▲まゆ玉飾り

郷土博物館の新年行事

◆新春吉例 大宮前囃子
「獅子舞・大黒舞」

大宮前囃子は、宮前地域に古くから伝わる民俗芸能で区登録無形民俗文化財です。舞を披露するのは、大宮前郷土芸能保存会の皆さんです。

まゆ玉を飾ります。土曜日の午後は囲炉裏に火を入れますので、懐かしい雰囲気味わっていただけます。

成人祝賀のつどい

【月日】 1月14日(祝)
【場所】 杉並公会堂(上荻1-23-15)
【内容】 式典、記念アトラクション(プラザートムによるミニコンサート)
【対象】 昭和62年4月2日~63年4月1日生まれで区内在住の方

地域(町名)ごとに次の時間にお越しください

- ①午前10時30分~11時30分(10時開場)
天沼、井草、今川、荻窪、上井草、上荻、清水、下井草、松庵、善福寺、西荻北、西荻南、本天沼、南荻窪、桃井
- ②午後1時~2時(0時30分開場)
阿佐谷北、阿佐谷南、梅里、高円寺北、高円寺南、成田西、成田東、堀ノ内、松ノ木、和田
- ③午後3時30分~4時30分(3時開場)
和泉、永福、大宮、上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、方南、宮前

該当者には、19年12月に案内状をお送りしました。

●児童青少年課青少年係 ☎3393-4760